

# 生活保護利用者アンケート調査の結果

令和元年（2019年）7月

小田原市福祉健康部生活支援課



## 目次

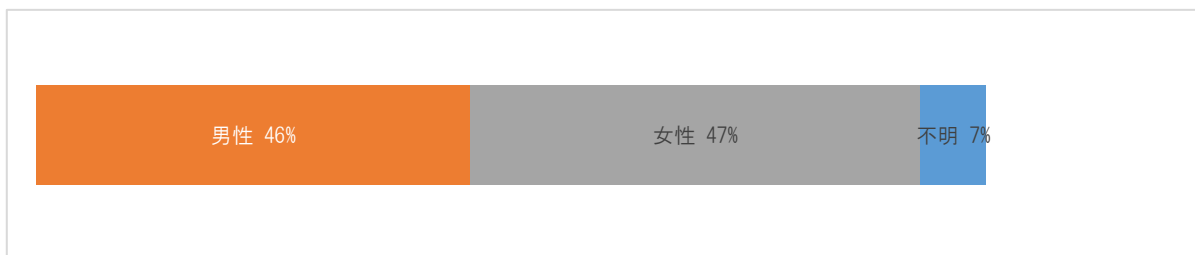
1 アンケートの実施概要 .....	1
2 アンケート結果 .....	2
3 調査結果から見たこと .....	13
【参考】アンケート調査用紙と各設問の回答状況 .....	14

# 1 アンケートの実施概要

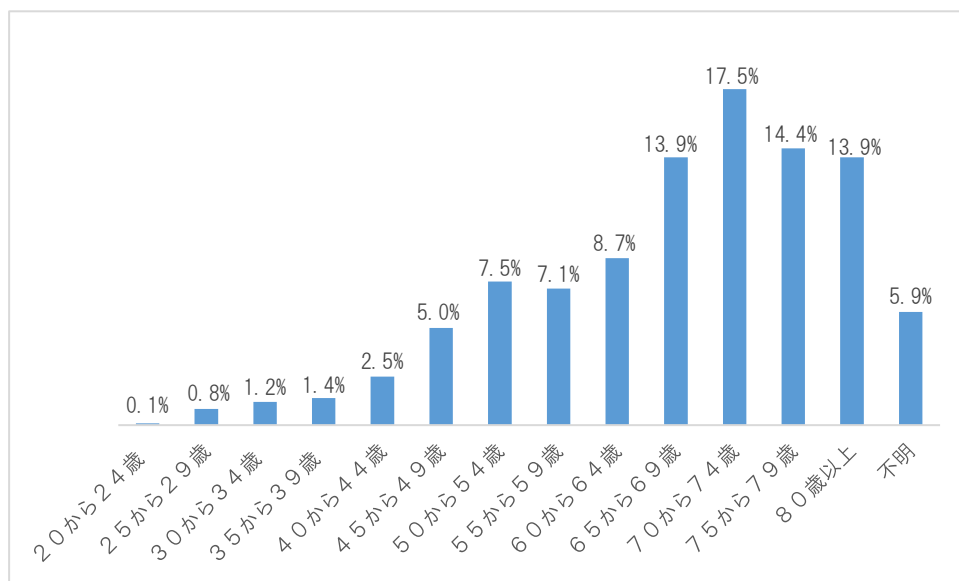
- (1) 実施期間 平成30年10月～12月
- (2) 対象世帯 2,190世帯
- (3) 回答数 1,070件
- (4) 回答率 48.85%

## (1) 回答者の属性

### ① 性別



### ② 年齢層



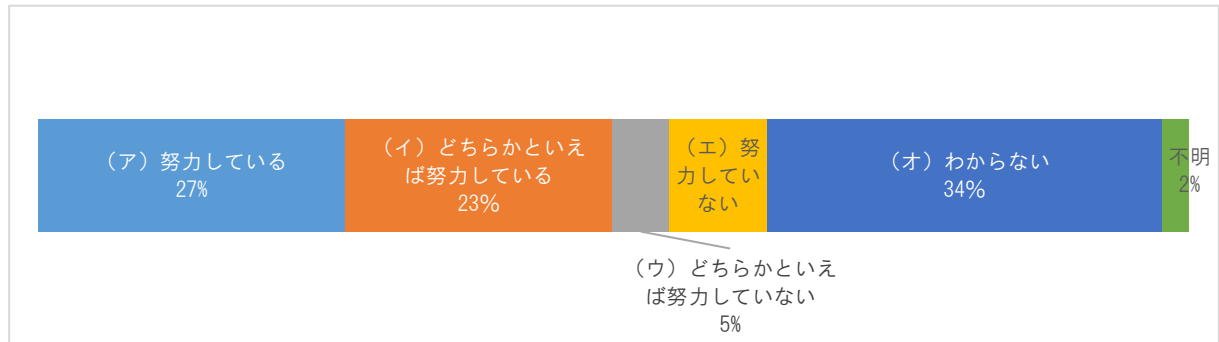
## 2 アンケート結果

問1 平成29年1月に、本市の生活保護担当職員が「HOGO NAMENNA」（保護なめんな）など書かれたジャンパーを着用して家庭を訪問するなどしていたことが判明した件について、あなたは、職員によるこのような対応が適切だったと思いますか。

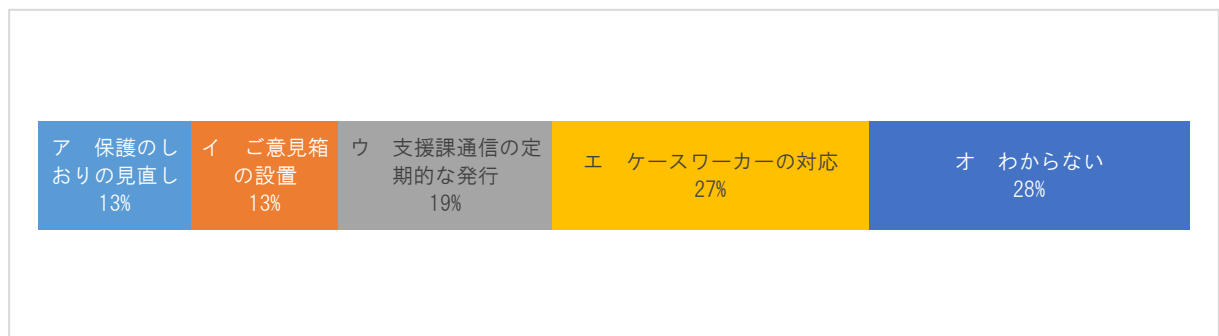


【回答状況】 肯定的な意見が14%、どちらともいえないが20%、否定的な意見が63%と多数である。

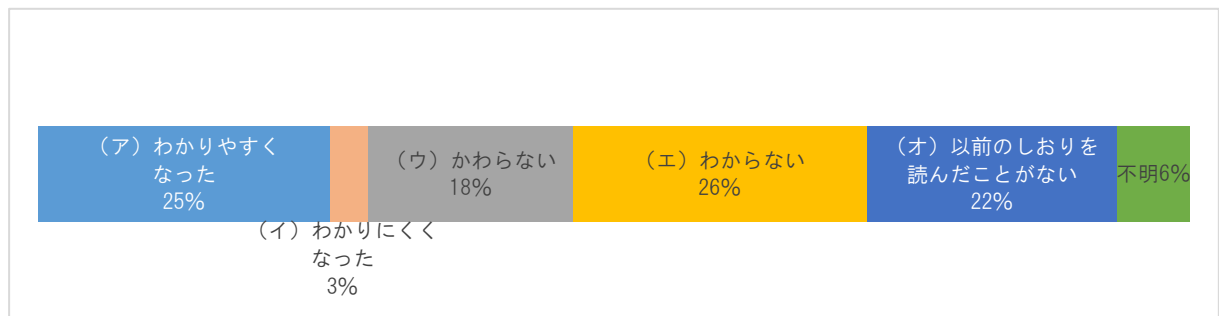
問2-1 あなたは、平成29年1月のジャンパー等に関する件が起きて以降の本市の生活保護改善の取り組みについて、十分な努力がなされていると思いますか。1つ選んでください。



問2-2. 本市の取り組みとして良いと思うものを選んでください（いくつでも可）。



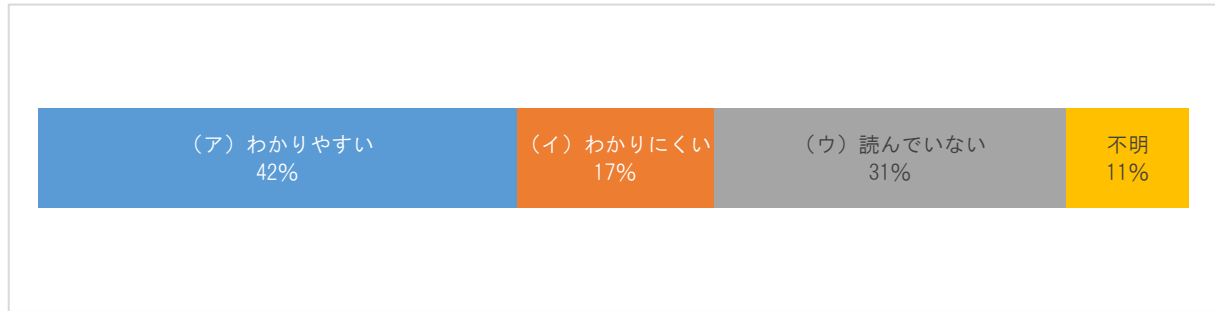
問2-3. 平成29年6月に見直しを行った保護のしおりについてあてはまるものを選んでください。以前のしおりと比べて今のしおりはどう変わりましたか



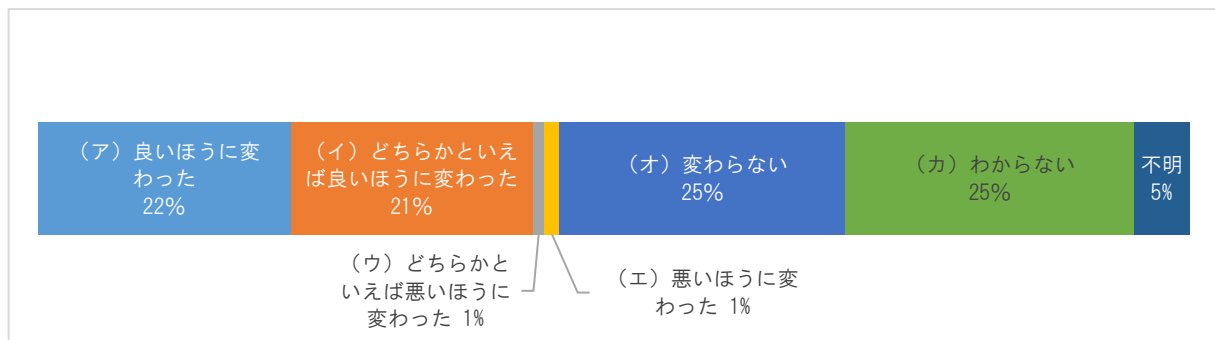
問2-4. 生活支援課窓口に設定しているご意見箱についてあてはまるものを選んでください。



問2-5. 支援課通信についてあてはまるものを選んでください。

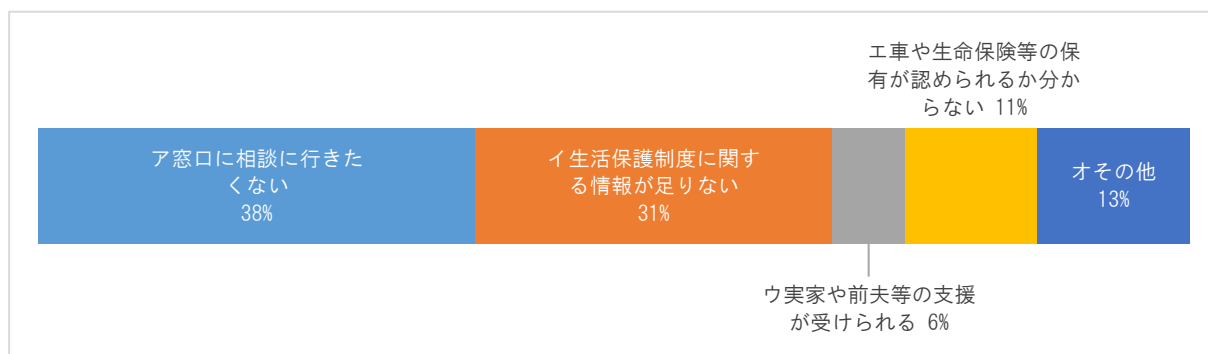


問2-6. 担当ケースワーカーの対応についてあてはまるものを選んでください。平成29年1月のジャンパー等に関する件がおきて以降あなたの担当ケースワーカー（市職員）の姿勢は変わりましたか。



【回答状況】 本市の生活保護改善の取り組みについてであるが、全般の取組に対しては肯定的な意見が50%と多数であった。一方でわからないと回答した人が34%と改善の取組を必ずしも実感されていない利用者も多いことがわかった。

問3-1 本市では母子世帯の利用が少ないという指摘がありますが、その理由として考えられるものを選んでください（いくつでも可）。



【回答状況】 相談に行きたくない38%、情報不足31%で全体の約7割であった。

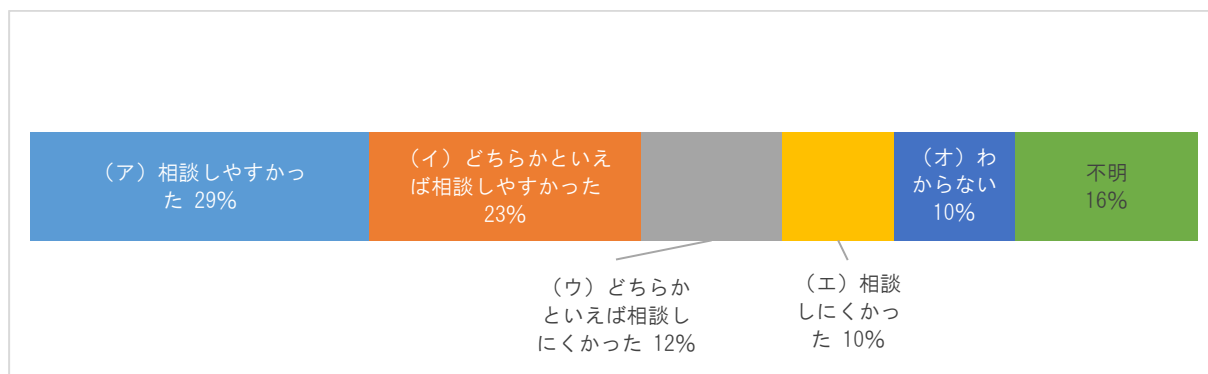
【自由記載】

問 3-2. 母子世帯の方が利用しやすくするために必要と思われることをご記入ください。（主な意見）

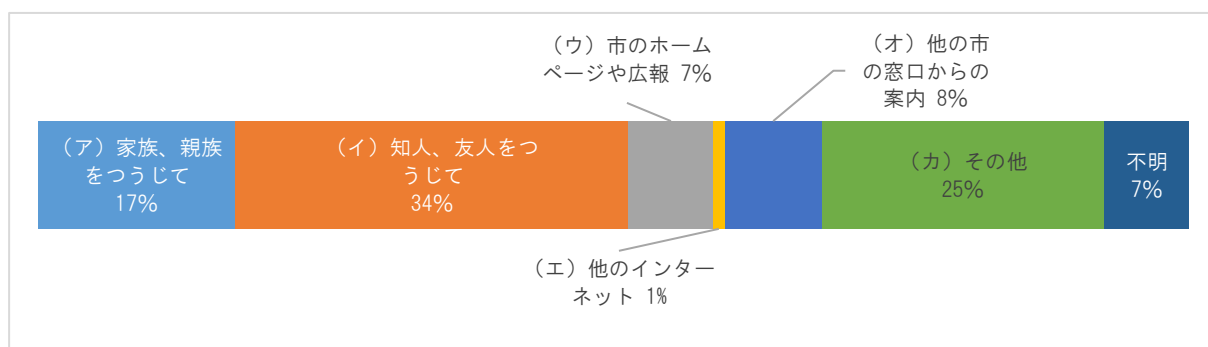
離婚の届出を提出する際に案内のしおりなどを渡すのはどうかと思う（児童扶養手当申請の時でも良い）。 本庁以外にも相談窓口を増やす。 ポスターの作成、定期的な母子世帯への手紙での案内。
あまり人目につかないで相談できるようになると良いと思う。 実際に訪問してもらって相談できるとか…。
女の子の人が少なく話しづらいです。
母子世帯専用の窓口を設けるといいと思います。
子供がいると移動も大変なため車を持てると保育園などの幅も広がる。 仕事も広がりやすい。 入園、入学時に必要な教材費が出ない（制服代などかなり最初はかかる）。
5階の児童手当等の窓口でパンフレットの配布をしたり、声かけをする。母子世帯のほとんどが生活保護を利用できるとは思っていないし考えもしないと思います。



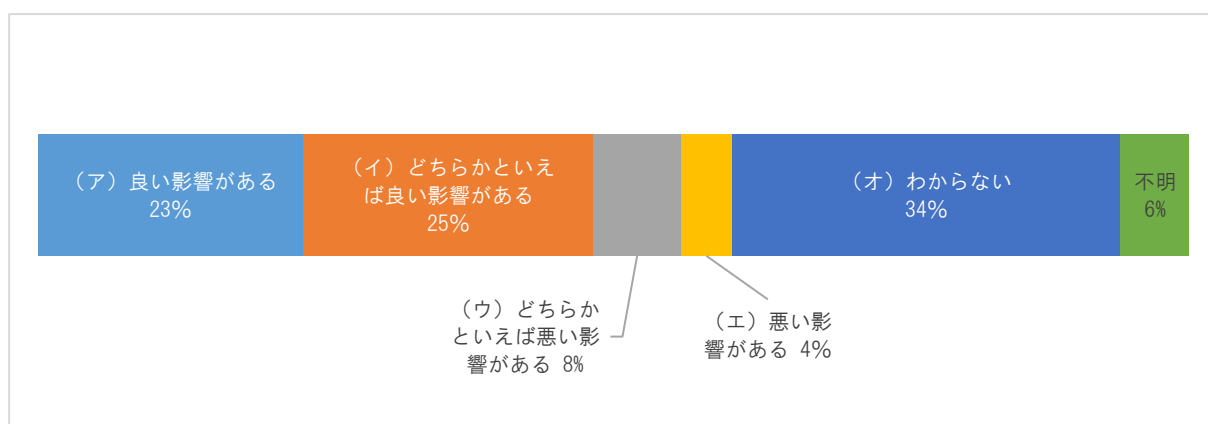
問4-1 生活支援課の窓口で生活保護の相談をしたときにどのように感じましたか。



問4-2 あなたは生活保護の情報をどのように知りましたか。



問4-4 生活保護の利用によって今後の生活にどんな影響があると感じますか。



【回答状況】 生活保護の利用に至る状況や至ってからの生活についての質問であった。相談した際の対応については肯定的な意見が51%であった。生活保護の情報については、家族、親族、知人、友人を通じて知った人が55%と半数以上であった。生活保護の利用の影響については肯定的な意見が48%であったが、「わからない」の回答も34%と多かった。

【自由記載】

問4-3. 生活保護を申請する際に悩んだことをご記入ください。（主な意見）

申し訳ない気持ちと不安がありましたがとにかく相談だけでもしたいと思い窓口に行きました。
本当に申請してよいのか。
周りの人に保護を申請する際に知られたらってことです。
税でお世話になることの悩みと他人に知られないか（プライバシー）の心配
今の自分の状況がちゃんと伝わるか不安だった。 生活保護を受けることが可能かとても心配だった。
母子家庭なので、仕事ができているときは一生懸命働き体は疲れきり全く余裕がなく子どもとの時間が取れなく何のために働いているんだらうと悩んでいた。そのうち精神的肉体的にも限界により仕事ができず家事もできなくなった時これを頼るしかないと思いました。
悩む暇などなく生活が苦しく限界を感じたので申請しました。窓口の方が「もっと早くくればよかったのに」と暖かい言葉をかけてくれてほっとしました。（緊張しながら行きました）女性の方で話しやすかったです。
事業2箇所就業していたのが1箇所の収入になり生活に不安があり申請しましたが、その後近所やアルバイト先に受給が知られないか。
体調が悪くなって、仕事ができず、持っているお金もなくなり、いつ体調が良くなるかも心配になって市役所へ相談に行きました。
安易に生活保護に頼っていいものかそれによって自分が一回りも二回りも小さくなってしまふ恐れを感じた。
離婚したため、生活保護の申請しか選択肢がなかった。
世間体が気になり、なかなか相談にいけなかった。どうにもならなくなるまで相談にいけなかった。
大変複雑な気持ちを持ちました。 私の年金額は保護を受ける金額とほぼ同額であること。 できる事であれば医療費の保護を受けるかアパートの負担を少しでも軽減したいと思いいの辺で悩んでいます。
健康保険証を手放したとき、一般の社会人とは違うと痛感した。
これで私の人生も終わりと思った。 今は新たな自分の人生を見つけようとしている。
自分の努力の足らなさに恥ずかしい思いをしました。
お金に困り、ホームレスになるのかと思った。
急に体が不自由になり自由気ままな生活をしていたのでこんな自分でも保護を受けられるか不安だった。
主人が病気で、保険とか公的年金に加入していないと知ったとき

【自由記載】

問4-5. 今後の本市の生活保護の取り組みについてご意見があれば、自由にご記入ください。（主な意見）

<p>ジャンパー問題をいきつけとして色々と努力されていると思います。 社会でまだまだ根強い偏見、差別的な部分（日本人（単一民族）の特徴（特質）気質）によるところが大きいと考えますが）とどう整合性を持たせて維持深化させていくか御深慮願いたい。</p>
<p>憲法 25 条にのっとなってやってください。中には不正受給もありますがすべての生活保護利用者は体の状態が悪くなってやむをえない理由もある、また、今の状況で生活保護が増えた状況でもあります。 其の点に考慮した生活保護世帯に暖かく見守ってほしい。</p>
<p>担当するケースワーカーさんはとても親身であり信頼がおける人物だ。ただ、全員が同じではないとも考えると先行きに不安がある。 個々の事情に応じた取組をもっと充実させるべきと考える。先般のジャンパー訪問は他に実例がない問題行為であり、再発防止はもとより、受給者とケースワーカーの信頼構築を具体的に形骸化させた上で職員一人ひとりが自覚を持つことで受給者にも伝わると思われる。</p>
<p>窓口での相談事となり他の方がいることが多く話を聞かれないので個室で相談できると良いと思います。</p>
<p>本人の気持ち、病気等ほか色々あると思いますが親身になって相談等に応じてほしいです。</p>
<p>社会参加を支援する取組、「はたらきかた」体験は良い取組であると思います。また、参加したことはありませんが不定期ではなく「毎月」「はたらきかた」があり参加できるようにしていただくとありがたいです。</p>
<p>ケースワーカーの増員が必要だと思います。（現在一人のケースワーカーの方は 50 人の保護者を受け持っていると聞いています。30 人くらいが適当では？）</p>
<p>保護を受けることは生きていくうえで最終手段だと思います。 様々な理由で受けることになってしまった心情を察していただき「相談しやすい」事を強く望みます。</p>
<p>仕事をしてくださいと言うのであればやらないではなくて足の悪い人たちがいっぱいいます。できれば内職を持ってきてくだされば助かりますが、自分では取りにいきません。そういったことを考えてくださればと思います。</p>
<p>メールなどのメッセージアプリでの相談ができると良いと思う。</p>
<p>ほごのしおりのみなおし。</p>
<p>次世代を担う子ども、若者・母親（非正規労働）への保護を手厚く。</p>
<p>身体障害者にはできる限り書面での送付などにしてほしい。50分も1時間もかけて役所に来いというが内容は書面で5分くらいで済むこと障害者のみになってみて！</p>
<p>ジャンパー問題が起きたのもたくさんたくさん受けている人が多い中、不適切な人も不正な人もいる現実です。自身で言うのもなんですが、より深くより親切に近所などからの聞き込みや状況をきちんと判断して不正のないように！もっとまじめに受けたい人がたくさんいると思うし担当の人たちの忙しさのあまり、不手際のない空間にしていきたい。</p>
<p>医療機関の受診時や薬局での処方の際にある程度負担をするようにしても良いのではないかと思う。</p>
<p>女子のケースワーカーもいてもいいと思う。</p>

若い人たちにもその人なりの色々な事情を（身体的、精神的）持っている人もいるとは思いますが、ゆっくりとでも自立していく方向に後押ししてほしいと思います。まだまだ人生は長いし、これからだから施設暮らしに慣れっこになってはいつになっても立ち直れないし職員さんしか頼れる人がいないのだから。

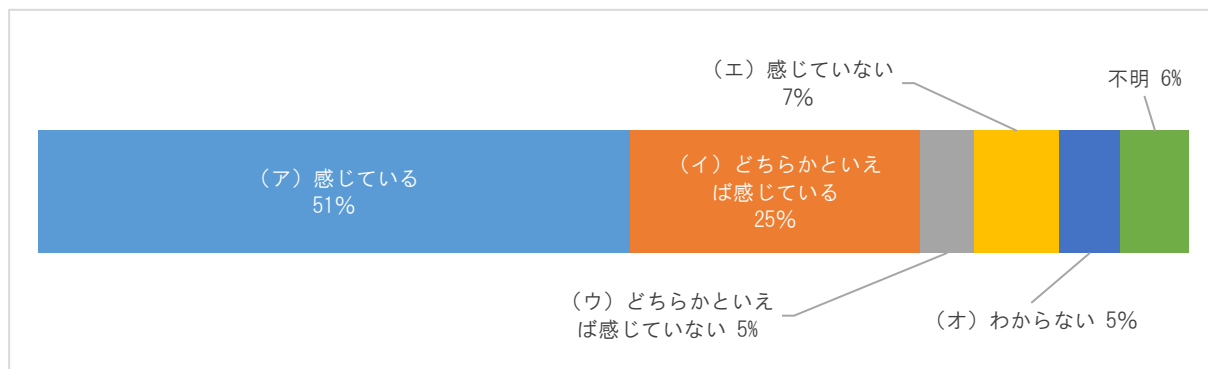
私はNPOの施設に入所しているのですが、施設の本部の方と意見交換や利用者からの相談、クレーム等の対応等ももっと話し合いをしてほしいと思う。

なるべく支給額を少しでも減らそうと思っているので働いた分の基本控除額を上げてほしいと思います。そうすれば意欲が生まれ心にもゆとりを感じるのではないのでしょうか。

生活保護利用者それぞれに合った仕事の多様性。  
病气怪我を抱えながらもその環境の中でできる仕事があったら…と思います。仕組みに期待を持ちます。

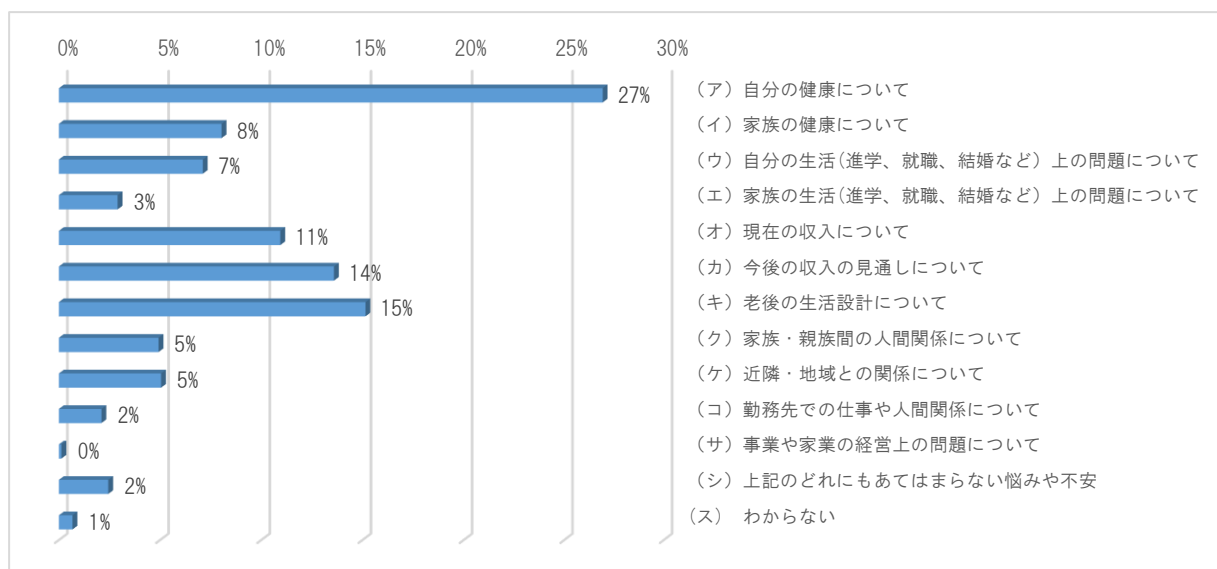
若い職員が誇りを持てる部署となり知識と自信を持って保護受給者に向き合ってほしい。ジャンパーの件は良しとはいえないが、そこまでになったのには相応の理由があると感ずます。

問5 あなたは、現在の生活の中で悩みや不安を感じていますか。



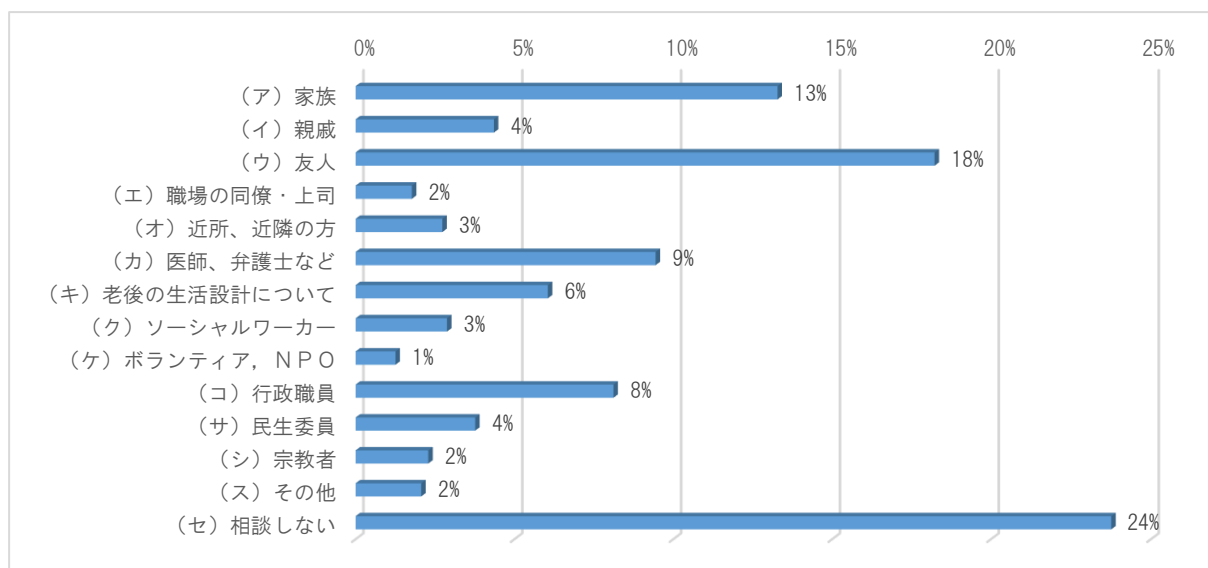
【回答状況】 感じている人が76%と不安を抱えながら生活している方が多い。

問6-1 悩みや不安を感じているのはどのようなことについてですか。該当するものをすべて選んでください。



【回答状況】 自身の健康を挙げた人が27%、次いで老後の生活設計を挙げた人が15%と多かった。

問7 生活上の悩みや不安について、これまで誰かに相談したことがありましたか？



【回答状況】 相談しない人が24%と一番多く、次いで友人を挙げた人が18%、家族を挙げた人が13%であった。

【自由記載】

問8. 質問以外についてご意見があれば、ご記入ください。（主な意見）

<p>一口に生活保護といっても一時的に利用せざるを得ない人もいればそうでない人（病気、身体、精神障害の方などなど）もいるので何とも言えませんが、長く利用すればするほど負担は大きくなると思います。経済的な部分1つとっても家電製品など故障買い替えなど必要となっても中々すぐのすぐにはできませんし、生きていくのは大変です。社会が経済的部分（お金しだい）に負うところがますます大きくなっていくでしょうし、果たして、最低限度の文化的など実現しえているのでしょうか。</p>
<p>何かにつけて市のほうに出向くのが大変です。 足腰が弱っているので、できれば電話等で済ませることができないかと思っています。</p>
<p>保護を利用していない低所得帯の消費とバランスが取れているのか確認と書いてありましたが、私も自分よりもっとつつましく生活している人もいるだろうと思いつつありがたいと思いとすまないと思いと複雑な思いで生活しています。</p>
<p>関連部署の横の連携をもっと深めてほしい。縦割りで「うちの担当ではない」と責任逃れが大前提になっている。</p>
<p>パソコン、スマートフォンを生活保護を受けている場合に持っているとは限らないと思うが、詳しくはホームページと勧められるが見ることが難しいので他の方法はないのですか。</p>
<p>もう少し支給額を増してほしい。 冬季加算額（月額）では灯油が買えません。</p>
<p>もっと今ではなく未来が明るくなればよいと思う。消費税が上がる時期に保護費も上がらないとおかしい。できるなら8%のうちに必要なものは買っておきたい。</p>

全体的に思うように行っていないように感じるが長い目で見ていくしかない。生活を支えてもらうのに制度化されている事業もあるが、陰で支えてくれていて（動いてくれて）いる人がいることによって成り立っていると考えている。自分としては今のままがいい。

この質問の書き方に少々回答しがたい文面が多々ある（生保者の立場から）。

周りに頼る人もいない中、保護を受けさせていただけて本当に感謝しております。おかげさまで子供を育てられます。ありがとうございます。

ルール違反者がいることは情報で知っていますが違反をしていないうちからルール違反の心配をされるのはどうかと思います。いつまで受給できるか分からない不安を抱えていますので追い討ちをかけられているようで追い詰められます。唯一の生活手段である受給をなくすような行為はほとんどの人がしないのではないかと思います。ですが、この度このようなアンケートを頂き、保護者を守ってくださっていることが感じられ感謝しております。

### 3 調査結果から見えたこと

#### (1) いわゆる「ジャンパー」問題への対応について

平成29年1月に、本市の生活保護担当職員が「HOGO NAMENNA」（保護なめんな）などと書かれたジャンパーを着用して家庭を訪問するなどしていたことが判明した、いわゆる「ジャンパー問題」については、問1の回答から、職員の対応について利用者から不適切な対応として批判的な意見が多く示された。この問題に対しては本市としても、真摯に反省するとともに、生活保護行政のあり方検討会による提言をすべて実施するべく、今後も改善に取り組む必要がある。

#### (2) 生活保護行政改善の取組について

平成29年1月のジャンパー等に関する件が起きて以降の本市の生活保護改善の取組みについては、問2-1から問2-6までの回答から一定程度評価されている。特にケースワーカーの対応については肯定的な意見が多かった。また、「生活保護のしおり」や「支援課通信」についても見ていない人も多いが、見ている人からは肯定的な意見が多かった。

#### (3) 生活保護の利用について

窓口での生活保護の相談については、相談しやすかったと感じた人が多かったが、生活に困窮し、生活保護の利用を相談するまでに様々な思いを抱え、悩まれたことが多く寄せられた。

また、生活保護を利用によって今後の生活に良い影響があると肯定的な人が半数近くいた一方で、否定的な回答やわからないと回答した人も多く、今後の見通しが立ちづらい状況が続いていることがわかった。

生活上の悩みや不安について、問5及び問6-1の回答から自身や家族の健康、老後の生活等に不安を抱えながら、その不安や悩みを家族や友人に相談できている人が多くいる一方で、相談しないと回答した人も多く、社会的に孤立しやすい状況におかれていることが伺える。

このことから、社会的交流の場の提供や多様な自立の支援に対応できるよう努めていく必要がある。



# 生活保護利用者アンケート調査の実施について

おだわらし  
小田原市

## アンケートご協力のお願い

小田原市では、「生活保護行政のあり方検討会」からの改善策の取組の一つとして、利用者の視点に立った生活保護業務の見直しを提案されました。これを踏まえ、このたび市民にひらかれた生活保護行政・生活支援施策を実現するために、利用者のみなさまのご意見を伺うことといたしました。

みなさまからのアンケートのご回答とご意見を参考に、今後の福祉行政を推進して参りたいと存じます。

なお、このアンケートにご記入いただいた情報は、生活保護行政・生活支援施策の改善等を目的とした資料の作成以外には使用いたしません。アンケートに回答された個人が特定されたり、特定の個人に不利益が生じたりすることはありません。また、担当ケースワーカーが事前に内容を見ることもありませんので、ありのままをご記入ください。

このアンケート結果については速やかに公開するものといたします。

なお、アンケートの分析を専門機関に依頼することがありますのでご了承ください。

## ご回答に当たってのお願い

- このアンケートは、平成30年8月31日時点で小田原市の生活保護利用者世帯を対象に実施しています。
- ご回答は、アンケート用紙に直接記入してください。
- 回答のしかたは、あてはまる記号を選んで回答欄に○をつけるものと、空欄に自由に記載するものがあります。
- 体調等により回答が難しい場合は、ご回答いただかなくても結構です。

## 返信方法について

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、平成30年10月31日までに郵便ポストに投函いただければ幸いです。

※ご質問やご意見につきましては、小田原市福祉健康部福祉政策課までお問い合わせください。

おだわらしふくしけんこうぶふくしせいさくか  
小田原市福祉健康部福祉政策課  
かながわけんおだわらしおぎほ  
神奈川県小田原市荻窪300  
0465-33-1861（直通）

せいかつ ほ ごりようしや ちょうさ  
生活保護利用者アンケート調査

参考資料

じっししゅたい おだわらし  
実施主体：小田原市

つぎ せつもん せんたくし ぼあい かいとうらん きにゆう  
次の設問に、選択肢がある場合は、回答欄に○印を記入してください。  
た ぼあい かいとうらん じゆう きにゆう  
その他の場合は、回答欄に自由に記入してください。

1. へいせい ねん がつ ほんし せいかつ ほ ごたんとうしよくいん ほ ご か  
平成29年1月に、本市の生活保護担当職員が「HOGO NAMENNA」（保護なめんな）などと書  
いたジャンパーを着用して家庭を訪問するなどしていたことが判明した件について、あなたは、職員によるこのような行為が適切だったと思いますか。

かいとうらん 回答欄	
76(7%)	(ア) そう思う
76(7%)	(イ) どちらかといえばそう思う
112(10%)	(ウ) どちらかといえばそう思わない
565(53%)	(エ) そう思わない
208(19%)	(オ) どちらともいえない

回答数 1,037 未記入 33(3%)

- 2-1. あなたは、へいせい ねん がつ など かん けん お いこう ほんし せいかつ ほ ごかいぜん  
あなたは、平成29年1月のジャンパー等に関する件が起きて以降の本市の生活保護改善  
の取り組みについて、じゆうぶん どりよく おも  
十分な努力がなされていると思いますか。1つ選んでください。

かいとうらん 回答欄	
285(27%)	(ア) 努力している
249(23%)	(イ) どちらかといえば努力している
52(5%)	(ウ) どちらかといえば努力していない
91(9%)	(エ) 努力していない
368(34%)	(オ) わからない

回答数 1,045 未記入 25(2%)

2-2. 本市の取り組みとして良いと思うものを選んでください（いくつでも可）。

かいとうらん 回答欄	
168(13%)	(ア) 保護のしおりの見直し
162(13%)	(イ) ご意見箱の設置
235(19%)	(ウ) 支援課通信の定期的な発送
348(27%)	(エ) ケースワーカーの対応
353(28%)	(オ) わからない

回答数 1266

2-3. 平成29年6月に見直しを行った保護のしおりについてあてはまるものを選んでください。

以前のしおりと比べて今のしおりはどう変わりましたか。

かいとうらん 回答欄	
271(25%)	(ア) わかりやすくなった
36(3%)	(イ) わかりにくくなった
190(18%)	(ウ) かわらない
273(26%)	(エ) わからない
233(22%)	(オ) 以前のしおりを読んだことがない
載せてほしい情報等があればご記入ください。（自由記載）	
回答数 41	

回答数 1,003 未記入 67(6%)

2-4. 生活支援課窓口に設置しているご意見箱についてあてはまるものを選んでください。

かいとうらん 回答欄	
145(14%)	(ア) 知っていた
879(82%)	(イ) 知らなかった

ご意見箱の設置場所、その他についてご意見があればご記入ください。（自由記載）	
回答数 69	

回答数 1,024 未記入 46(4%)

※保護のしおり  
生活保護制度をご  
理解いただくため  
に利用者に配布し  
ている冊子。

※ご意見箱  
生活保護利用者等  
からの意見を入れ  
ていただくための  
もの。

2-5. <sup>しえんかつうしん</sup>支援課通信についてあてはまるものを選んでください。

かいとうらん 回答欄	
445(42%)	(ア) わかりやすい
183(17%)	(イ) わかりにくい
328(31%)	(ウ) <sup>よ</sup> 読んでいない
の載せてほしい情報等があればご記入ください。(自由記載)	
回答数 33	

※<sup>しえんかつうしん</sup>支援課通信  
<sup>せいかつほごりようしや</sup>生活保護利用者にお送りしている  
<sup>じょうほうし</sup>情報紙。

回答数 956 未記入 114(11%)

2-6. <sup>たんとう</sup>担当ケースワーカーの<sup>たいおう</sup>対応についてあてはまるものを選んでください。

<sup>へいせい</sup>平成29年1月の<sup>ねん</sup>ジャンパー等に関する<sup>が</sup>件が起きて以降あなたの<sup>たんとう</sup>担当ケースワーカー(市職員)の<sup>しよくいん</sup>姿勢は<sup>しせい</sup>変わりましたか。

かいとうらん 回答欄	
235(22%)	(ア) <sup>よ</sup> 良いほうに <sup>か</sup> 変わった
225(21%)	(イ) どちらかといえば <sup>よ</sup> 良いほうに <sup>か</sup> 変わった
11(1%)	(ウ) どちらかといえば <sup>わる</sup> 悪いほうに <sup>か</sup> 変わった
14(1%)	(エ) <sup>わる</sup> 悪いほうに <sup>か</sup> 変わった
266(25%)	(オ) <sup>か</sup> 変わらない
268(25%)	(カ) わからない

回答数 1,019 未記入 51(5%)

3. 【 母子世帯の方に伺います。 】 ※母子世帯以外の方は 設問4 へ

本市では母子世帯の生活保護の利用が少ないとの指摘がありますが、

3-1. その理由として考えられるものを選んでください（いくつでも可）。

かいとうらん 回答欄	
66(38%)	(ア) 窓口へ相談に行きにくい
54(31%)	(イ) 生活保護制度に関する情報が足りない
11(6%)	(ウ) 実家や前夫等の支援が受けられる
20(11%)	(エ) 車や生命保険等の保有が認められるかわからない
23(13%)	(オ) その他
(オ) その他の内容をご記入ください（自由記載）	
回答数 13	

回答数 174

3-2. 母子世帯の方が生活保護を利用しやすくするために必要と思われることをご記入ください。

かいとうらん 回答欄（自由記載）
回答数 24

4. 今後の参考とするため、次の設問にお答えください。

4-1. 生活支援課の窓口で生活保護の相談をしたときにどのように感じましたか。

かいとうらん 回答欄	
311(29%)	(ア) 相談しやすかった
249(23%)	(イ) どちらかといえば相談しやすかった
129(12%)	(ウ) どちらかといえば相談しにくかった
103(10%)	(エ) 相談しにくかった
111(10%)	(オ) わからない

回答数 903 未記入 167(16%)

4-2. あなたは生活保護の情報をどのように知りましたか。

かいとうらん 回答欄	
183(17%)	(ア) 家族、親族をつうじて
366(34%)	(イ) 知人、友人をつうじて
78(7%)	(ウ) 市のホームページや広報
11(1%)	(エ) 他のインターネット
90(8%)	(オ) 他の市の窓口からの案内
263(25%)	(カ) その他

回答数 991 未記入 79(7%)

4-3. 生活保護を申請する際に悩んだことをご記入ください。

かいとうらん 回答欄 (自由記載)
回答数 291

4-4. 生活保護の利用によって今後の生活にどんな影響があると感じますか。

かいとうらん 回答欄	
246(23%)	(ア) 良い影響がある
270(25%)	(イ) どちらかと言えば良い影響がある
81(8%)	(ウ) どちらかと言えば悪い影響がある
48(4%)	(エ) 悪い影響がある
361(34%)	(オ) わからない

回答数 1,006 未記入(6%)

4-5. 今後の本市の生活保護の取り組みについてご意見があれば、自由にご記入ください。

かいとうらん 回答欄 (自由記載)
回答数 161

5. あなたは、現在の生活の中で悩みや不安を感じていますか。

かいとうらん 回答欄		
しつもんこうもく 質問項目 6へ	550(51%)	(ア) かん 感じている
	270(25%)	(イ) かん どちらかといえば感じている
しつもんこうもく 質問項目 8へ	50(5%)	(ウ) かん どちらかといえば感じていない
	79(7%)	(エ) かん 感じていない
	57(5%)	(オ) わからない

回答数 1,006 未記入 64(6%)

6. 5. で (ア)、(イ) とお答えになった方に伺います。

6-1. なや ふあん かん 悩みや不安を感じているのはどのようなことについてですか。がいとう えら 該当するものをすべて選んでください。

かいとうらん 回答欄	
640(27%)	(ア) じぶん けんこう 自分の健康について
191(8%)	(イ) かぞく けんこう 家族の健康について
169(7%)	(ウ) じぶん せいかつ しんがく しゅうしょく けっこん じょう もんだい 自分の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について
69(3%)	(エ) かぞく せいかつ しんがく しゅうしょく けっこん じょう もんだい 家族の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について
260(11%)	(オ) げんざい しゅうにゆう 現在の収入について
323(14%)	(カ) こんご しゅうにゆう みとお 今後の収入の見通しについて
360(15%)	(キ) ろうご せいかつせつけい 老後の生活設計について
117(5%)	(ク) かぞく しんぞくかん にんげんかんけい 家族・親族間の人間関係について
120(5%)	(ケ) きんりん ちいき かんけい 近隣・地域との関係について
50(2%)	(コ) きんむさき しごと にんげんかんけい 勤務先での仕事や人間関係について
3(0%)	(サ) じぎょう かぎょう けいえいじょう もんだい 事業や家業の経営上の問題について
58(2%)	(シ) じょうき なや ふあん 上記のどれにもあてはまらない悩みや不安
	【よろしければ具体的に <small>ぐたいてき</small> ご記載 <small>きさい</small> ください】 回答数 140
16(1%)	(ス) わからない

回答数 2,376

6-2. 過去30日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。

(1) 神経過敏に感じましたか

かいとうらん 回答欄	
147(14%)	(ア) まったくない
251(23%)	(イ) すこしだけ
310(29%)	(ウ) ときどき
68(6%)	(エ) たいてい
154(14%)	(オ) いつも

回答数 930 未記入 140(13%)

(2) 絶望的だと感じましたか

かいとうらん 回答欄	
215(20%)	(ア) まったくない
279(26%)	(イ) すこしだけ
272(25%)	(ウ) ときどき
55(5%)	(エ) たいてい
112(10%)	(オ) いつも

回答数 933 未記入 137(13%)

(3) そわそわ、落ち着かなく感じましたか

かいとうらん 回答欄	
238(22%)	(ア) まったくない
290(27%)	(イ) すこしだけ
267(25%)	(ウ) ときどき
62(6%)	(エ) たいてい
73(7%)	(オ) いつも

回答数 930 未記入 140(13%)

(4) 気分が沈みこんで、何が起ころっても気が晴れないように感じましたか

かいとうらん 回答欄	
168(16%)	(ア) まったくない
312(29%)	(イ) すこしだけ
265(25%)	(ウ) ときどき
83(8%)	(エ) たいてい
105(10%)	(オ) いつも

回答数 933 未記入 137(13%)



(5) 何をするのも骨折りだと感じましたか

かいとうらん 回答欄	
186(17%)	(ア) まったくない
272(25%)	(イ) すこしだけ
275(26%)	(ウ) ときどき
97(9%)	(エ) たいてい
105(10%)	(オ) いつも

回答数 935 未記入 135(13%)

(6) 自分は価値のない人間だと感じましたか

かいとうらん 回答欄	
220(21%)	(ア) まったくない
261(24%)	(イ) すこしだけ
222(21%)	(ウ) ときどき
60(6%)	(エ) たいてい
173(16%)	(オ) いつも

回答数 936 未記入 134(13%)

7. あなたは、上記 6-1. で回答した生活上の悩みや不安について、これまで誰かに相談したことがありましたか。該当するものをすべて選んでください。

かいとうらん 回答欄	
180(13%)	(ア) 家族
59(4%)	(イ) 親戚
247(18%)	(ウ) 友人
24(2%)	(エ) 職場の同僚、上司
37(3%)	(オ) 近所、近隣の方
128(9%)	(カ) 医師、弁護士
82(6%)	(キ) 介護職、ヘルパー
39(3%)	(ク) ソーシャルワーカー
17(1%)	(ケ) ボランティア、NPO
110(8%)	(コ) 行政職員 (ケースワーカー)
51(4%)	(サ) 民生委員
31(2%)	(シ) 宗教者
28(2%)	(ス) その他 ( )
322(24%)	(セ) 相談しない

回答数 1, 355

8. 質問以外にご意見があればご記入ください。

かいとうらん 回答欄 (自由記載)
回答数 119

9. 最後に、ご回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについて伺います。

なお、得た情報は個人を特定するものではなく、またそのような目的で利用することは決してありません。

9-1. あなたの性別をお答えください。

かいとうらん 回答欄		
489(46%)	(ア)	だんせい 男性
507(47%)	(イ)	じょせい 女性

回答数 996 未記入 74(7%)

9-2. 現在、あなたのお年は満で何歳ですか。

かいとうらん 回答欄		
1(0%)	(ア)	20~24歳
9(1%)	(イ)	25~29歳
13(1%)	(ウ)	30~34歳
15(1%)	(エ)	35~39歳
27(3%)	(オ)	40~44歳
54(5%)	(カ)	45~49歳
80(7%)	(キ)	50~54歳
76(7%)	(ク)	55~59歳
93(9%)	(ケ)	60~64歳
149(14%)	(コ)	65~69歳
187(17%)	(サ)	70~74歳
154(14%)	(シ)	75~79歳
149(14%)	(ス)	80歳以上

回答数 1,007 未記入 63(6%)

9-3. 仕事をしている方に伺います。あなたは、次のどれにあたりますか。

かいとうらん 回答欄		
	(ア)	せいぎじゆうぎやういん 正規従業員
	(イ)	ひせいぎじゆうぎやういん 非正規従業員
	(ウ)	じえいぎやう ないしよくしゃ ふく 自営業（内職者を含む）
	(エ)	むしよく きゆうしよくちゆう ふく 無職（求職中も含む）

9-4. あなたの家族は、次のように分類した場合、どれにあたりますか。

かいとうらん 回答欄	
(ア)	1人世帯 <small>りせたい</small>
(イ)	1世代の世帯 (夫婦のみ) <small>せだい せたい ふうふ</small>
(ウ)	2世代の世帯 (親と子) <small>せだい せたい おや こ</small>
(エ)	3世代の世帯 (親と子と孫) <small>せだい せたい おや こ まご</small>
(オ)	その他の世帯 <small>た せたい</small>

9-5. 外出の頻度はどのくらいですか。

かいとうらん 回答欄	
(ア)	毎日 <small>まいにち</small>
(イ)	週 2、3 回以上 <small>しゅう かいじょう</small>
(ウ)	週 1 回以上 <small>しゅう かいじょう</small>
(エ)	月 1 回以上 <small>つき かいじょう</small>
(オ)	月 1 回未満 <small>つき かいみまん</small>

9-6. 日常的に近隣の人々と交流がありますか。

かいとうらん 回答欄	
(ア)	日常的にある <small>にちじょうてき</small>
(イ)	どちらかと言えば日常的にある <small>い にちじょうてき</small>
(ウ)	どちらかと言えば日常的にない <small>い にちじょうてき</small>
(エ)	日常的にない <small>にちじょうてき</small>

質問は、以上です。

ご回答いただきまして、ありがとうございました。

なお、このアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、

切手を貼らずに返信くださるようお願いいたします。

